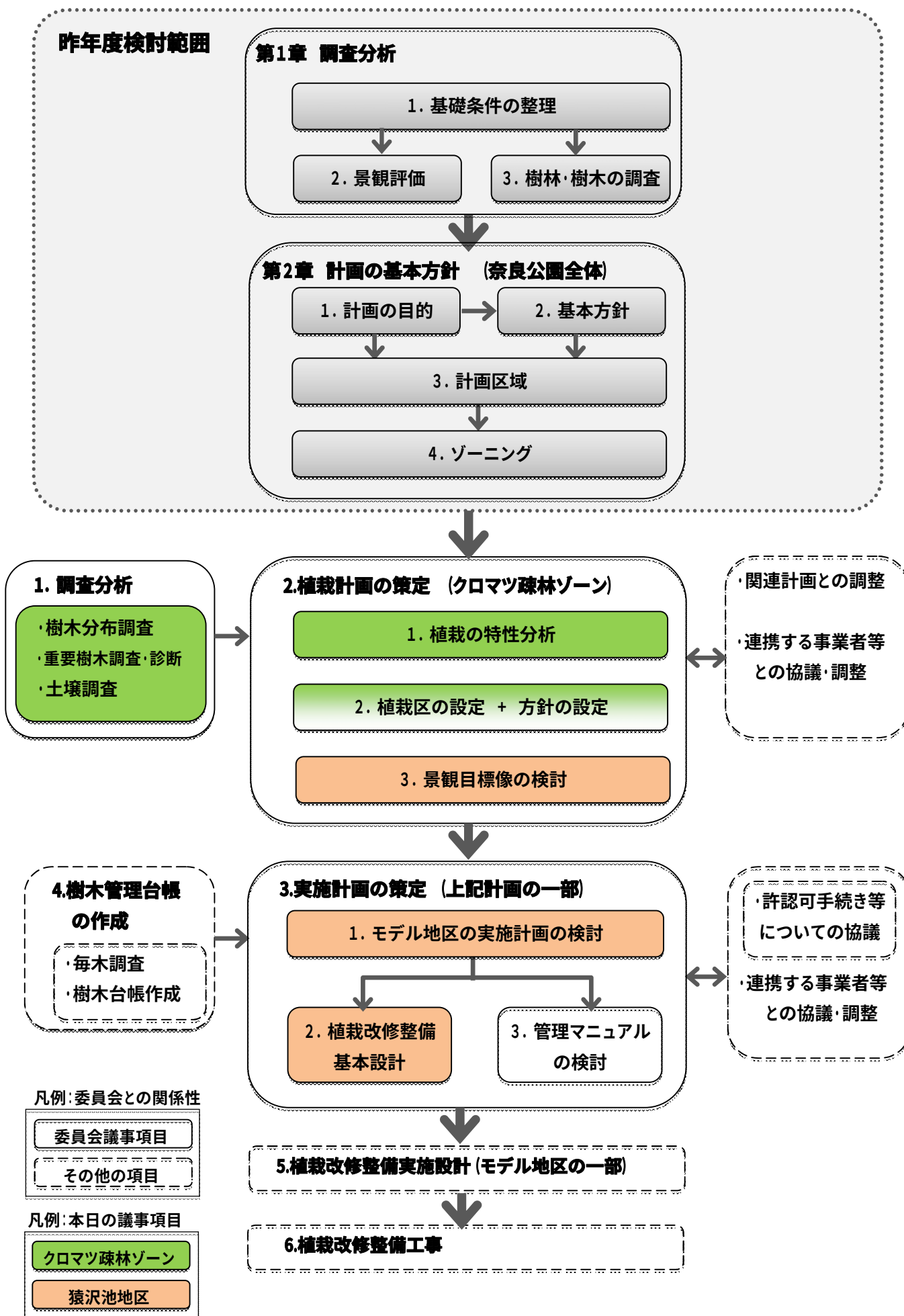


奈良公園植栽計画検討委員会 これまでの検討経緯と今後の事業の内容



第 1 回 奈良公園植栽計画検討委員会 議事要旨

日 時 : 平成 24 年 11 月 2 日(金) 午前 10 時 00 分～12 時 00 分
場 所 : 奈良県文化会館 1 階 第 3 会議室
出席者 : 委員長 尼崎博正
委 員 井原縁、西田正憲、増田昇
事務局 奈良県土木部まちづくり推進局奈良公園室
関係部局 《奈良県》風致景観課、道路管理課、奈良土木事務所、
奈良公園管理事務所、文化財保存課
《奈良市》景観課、土木管理課、道路維持課、文化財課

議事要旨

1. 委員会の趣旨説明

2. 資料説明

3. 討 議 「議題：奈良公園植栽計画検討の進め方」

○樹木について

- ・重要樹木についてはデータベース化を図るべきではないか。
- ・樹木景観の保全については植栽管理をしっかりやることが近道である。
- ・樹木の強剪定は問題が大きい。
- ・植栽については生育不良があるので、土壌調査等をしっかり行うべき。
- ・樹木には樹齢があるので何十年かごとに樹木の更新を行う考え方もある。
- ・ナンキンハゼは、どのような理念、趣旨で取り扱うのか明確にすべき。
- ・古木や名木についてどう評価するのか明確にすべき。
- ・奈良公園は名勝として文化財的価値があるから、きちんとした保全を前提にして検討する必要がある。
- ・管理密度(レベル)の設定・配分が大切であり、その検討は合理的な理由によって行う必要がある。

○景観について

- ・景観は多様な価値観があるので、景観の重要性をしっかり把握するべきである。
- ・景観についても、定点観測などを行うべきである。
- ・景観はベースになる緑をしっかり作ってから行うべきである。そのうえで彩りを加えるべきである。

○その他

- ・樹木の伐採や剪定については、その目的をしっかり住民に伝える方法を考えるべき。
- ・植栽景観に大きな変化を与える場合には、いろいろな観点から検討した上で魅力的な空間づくりに努める必要がある。

○まとめ

- ・次回委員会では、景観に配慮した植物、植栽管理の基本方針を具体的に審議する。

第2回 奈良公園植栽計画検討委員会 議事要旨(速報)

日 時 : 平成24年12月21日(金) 午前10時00分～12時00分
場 所 : 奈良県新公会堂 1階 会議室1. 2
出席者 : 委員長 尼崎博正
委 員 井原縁、西田正憲、増田昇
事務局 奈良県土木部まちづくり推進局奈良公園室
関係部局 《奈良県》風致景観課、道路管理課、奈良土木事務所、
奈良公園管理事務所、文化財保存課
《奈良市》景観課、土木管理課、道路維持課、文化財課

議事要旨

議題① 基本方針、ゾーニング

② 具体的な手法の検討

○基本方針について

- ・第2章では奈良公園の植栽計画の目標を明確に示した方がよい。
- ・植物管理に関する諸要素はいずれも同時に考慮すべき要素である。表現を再検討すべきである。

○ゾーニングについて

- ・基本ゾーニングの検討は、地形や水系、歴史的要素など、すべての要素を評価すべきである。
- ・基本ゾーニングの段階で、基本方針に示した要素はすべて盛り込んで細やかなゾーニングを行うべきである。

第3回 奈良公園植栽計画検討委員会 議事要旨

日 時 : 平成25年3月14日(木) 午前9時30分～11時30分
場 所 : 奈良県文化会館 第3会議室
出席者 : 委員長 尼崎博正
委 員 井原縁、西田正憲、増田昇
事務局 奈良県土木部まちづくり推進局奈良公園室
関係部局 《奈良県》風致景観課、道路管理課、
奈良公園管理事務所、文化財保存課
《奈良市》景観課、道路維持課

議事要旨

議題① ゾーニング（案）について

② 今後の計画検討の進め方について（事業化に向けて）

○ゾーニング（案）について

- ・ゾーニング及び検討資料の各項目まとめ（資料9. 15. 23）が大きな成果といえる。
これを50年後、100年後の姿の基本として次の事業へ展開していく。
- ・ゾーニングは、将来の目標像として位置づけるべきであるので、植物管理の課題や魅力の方向性については区別して進めていく。

○今後の計画検討の進め方について（事業化に向けて）

- ・植栽計画は、ゾーニングを受けて将来目標像を作り、これをふまえて植物管理の課題や魅力向上に向けて、モデル地区で具体化していく。
- ・芝地を重要な植栽の一つとして位置づけ、芝地の減少についての調査を行う。
- ・ヤナギについては実務経験者の助言を求める。
- ・マツについては、他の都市内での管理事例を調査して参考とする。

第4回 奈良公園植栽計画検討委員会 議事要旨

日 時 : 平成25年6月12日(水) 午前10時00分～12時00分
場 所 : 奈良県新公会堂 1階 会議室1. 2
出席者 : 委員長 尼崎博正
委 員 井原縁、西田正憲
事務局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室
関係部局 《奈良県》風致景観課、道路管理課、奈良土木事務所、
奈良公園管理事務所、文化財保存課
《奈良市》景観課、土木管理課、道路維持課、文化財課

議事要旨

- 議題① 昨年度成果のとりまとめの確認について
② 今年度の事業スケジュールと今後の進め方について
③ 猿沢池シダレヤナギの枯死問題対策について

○昨年度成果のとりまとめの確認について

- ・昨年度成果については了承した。

○今年度の事業スケジュールと今後の進め方について

- ・保存の観点から緊急性を要し、奈良らしさを感じられる玄関口である「クロマツ疎林ゾーン」から検討を始める。
- ・植栽計画及び実施計画においては、各段階で確認、チェックを行うしくみが必要である。
- ・モデル地区としては、猿沢池周辺を行うことで了承した。

○猿沢池シダレヤナギの枯死問題対策について

- ・腐朽菌対策及び樹木環境の健全化を行う方向で進めることで合意を得た。

第5回 奈良公園植栽計画検討委員会 議事要旨

日 時 : 平成25年10月30日(水) 午前9時30分～11時30分
場 所 : 奈良県文化会館 1階 第3会議室
出席者 : 委員長 尼崎博正
委 員 井原縁、西田正憲、増田昇
事務局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室
地元関係者 興福寺、東大寺、春日大社、奈良国立博物館
関係部局 《奈良県》風致景観課、道路管理課、奈良土木事務所、
奈良公園管理事務所、文化財保存課
《奈良市》景観課、道路維持課、文化財課

議題① クロマツ疎林ゾーン植栽計画の検討

② 猿沢池地区の実施計画の検討

報告 シダレヤナギ植替計画について

議事要旨

○クロマツ疎林ゾーン植栽計画の検討

- ・ 歴史的な履歴を再度確認、共有しながら検討を進めること。
- ・ 視点場を十分意識した検討とすること。

○猿沢池地区の実施計画の検討

- ・ 基本方針に、郷土樹種以外の樹種への対応や強剪定樹木への対応を含める必要がある。
- ・ 景観の激変を緩和するため、伐採や新植などの段階的整備手順を示す必要がある。
- ・ 現地での施工のチェック、整備中の情報発信も重要である。

○シダレヤナギ植替計画について

- ・ 対策は適切であるが、施工方法について慎重に検討すること。